

氷ノ山の蝶類(Ⅱ)

吉 阪 道 雄

先に、54年の採集結果を主としての報告を先号(Vol. 3, No. 1~2)に記させて頂いたが、続いての本年('55)も7月10~12日間を採集調査行い、更に若干の知見を得る処が有つたので、標題(Ⅱ)の下に御報告したい。

コースは7月10日、八鹿→福定→鉢伏→福定、11日福定→地藏堂→氷ノ山越→頂上→氷ノ山越→福定、12日福定→地藏堂→福定である。

Ⅰ. アゲハチヨウ科 PAPILIONIDAE

1. キアゲハ *Papilio machaon hippocrates* FELDER

本年も頂上で♂の占有を認める。昨年より数は少く新鮮。

Ⅱ. シロチヨウ科 PIERIDAE

1. スジグロシロチヨウ *Pieris melete* MÈNÈTRIÈS

3♂♂2♀♀を得るも、少く、♂は傷んで居た。

2. モンシロチヨウ *Pieris rapae crucivora* BOISOUVAL

山上部には見られず、福定附近の畑地のみに見る。殆んどが小型の個体であるのが興味がある。1♂

本科ではその他、スジボソヤマキチヨウ *Gonepteryx mahaguru nipponica* VERITY を地藏堂附近の花上で見つけた。

Ⅲ. ジャノメチヨウ科 SATYRIDAE

1. ウラナミジャノメ *Ypthima motschulskyi* BREMER et GREY

昨年は鉢伏山麓(約、1000m)で7月29日、2♂♂を得たが、本年は同所には見られず、下方の福定附近(約、800m)で4♂♂を得たのは興味がある。此の様な例は後述のタテハチヨウ科のウスイロヒヨウモンモドキに於いても見られ、高度に依る発生のズレと云つたものではないかと考えられるフシがある。

2. ヒメキマダラヒカゲ *Harinna callipteris* BUTLER

昨年に比し、数は少く、新鮮より考えて発生の初期と思はれた。3♂♂

Ⅳ. マダラチヨウ科 DANALIDAE

1. アサギマダラ *Caduga tytia nipponica* MOORE

地藏堂附近で1♂を得た。

Ⅴ. タテハチヨウ科 NYMPHARIDAE

1. ミドリヒヨウモン *Argynnis paphia geisha* HEMMING

本種始め、ヒヨウモン類はよく、その発生期に当遇し得た為に、今回の採集行中、その主力を示すものであつた。ARGYNNINAE中、本種は以下の諸種と混じてウラギンヒヨウモンと共に最も多いもので、主として前種の草原性に対し、本種の森林性と云つたその対比が明瞭に観察し得られたのも興味があつた。11♂♂8♀♀の内の2♀♀は昨年は得られなかつた中国山脈に主として見られる暗緑型である。

2. オオウラギンスジヒヨウモン *Argynnis lysippe* JANSON

前種に混じて林間空地のオカトラノオ等を集つて居るが、その数は少い。3♂♂

3. メスグロヒヨウモン *Damora sagana liane* FRUHSTORFER

上記等に混じて1♂を得たのみで、且つ、個体も古く、恐らくは他種よりもその発生は遅いものと思はれる。

4. ウラギンヒヨウモン *Fabriciana cydippe pallescens* BUTLER

上記した如く、林間には少く、鉢伏山草原に極めて多い。♂の多かつたにも不拘ず、その盛期は稍々過ぎて居た。しかし、昨年の如き♂の拾も♀の如き習性は今期では見向けなかつた、山地性の小型の個体に属する。35♂♂10♀♀

5. イチモンジチヨウ *Limenitis camilla japonica* MÈNÈTRIÈS

春生の残存個体の1♂

6. アサマイチモンジ *Limenitis glorifica* FRUHSTORFER

同じく春生残存の2♀♀を得た。

7. アカダテハ *Vanessa indica* HERBST

ヒヨウモン類に混じて林中に多く、5♂♂

8. サカハチチヨウ *Araschnia burejana* Strigosa BUTLER

春型残存の1♀の他、夏型2♂♂1♀は頗る新鮮。個体は少く、発生初期と考えられた。

9. ウスイロヒヨウモンモドキ *Melitaea diamina protomedia* MÈNÈTRIÈS

鉢伏山草原(頗る新鮮個体)の他、福定上部の草原でも発見する事が出来たが、此所のものは既に不完全

で、前記のウラナミシヤノメと同じくの例で興味深い
鉢伏では♀も発生して居たので、必ずしも当地が、他
地方より発生が遅生とは思えなかつたが、しかし、此
の年は気候の進み方が早く、此の後に訪れた13~19日
間の鳥取、大山での採集に於いては本種は殆んど見向
けず、現地で御会いた米子市第三中学校、三島教官
の談では此の月の2日頃が、最盛期であつたと云はれ
るから、当地での発生は、矢張り遅いものと言えら
れないかと思われる。その広大な鉢伏の草原と、
上記の大山の枡水原の草原と比較すると、個体数は決
して多いとは云えない。

本科では此の他、オオムラサキ *Sasakia charonda*
HEWITSON を福定裏山林中に見向けたが頗る高所
の為、採集に至り得なかつた。又、シータテハ *Poly-*
gonia c-album hamigera BUTLER を今年も地藏堂
附近で1頭を目撃し得た。

Ⅶ. テングチヨウ科 LIBYTHEIDAE

1. テングチヨウ *Libythea celtis celtoides* FRU HSTORFER

ヒヨウモン類に混つて1♂を林間より得た。

Ⅷ. シジミチヨウ科 LYCAENIDAE

1. ウラクロシジミ *Itatsume orsedice* BUTLER

昨年は採集に至り得なかつたが、本年は1♂1♀を
得る事が出来た。地藏堂より下つた遭難碑附近でも2
♂♂を目撃して居るが、決してその数は多いものでは
ない。

2. エゾミドリシジミ *Favonius jezoensis* MATS- UMURA

昨年よりも早期に訪れた為に、如何なるゼフィルス
類が見向けられるかと期待、且つ、興味を以つて訪れ
たのであつたが、既に昨年と同じく本種が早く、見向
けられた。13♂♂は殆んど新鮮個体、尙昨年見向けら
れた、シヨウザン、アイノミドリシジミ等は見向けず、
恐らく本種に次いで発生するものと考えられる。

3. フジミドリシジミ *Favonius fujisanus* MATS UMURA

今回、今期に於ける、その最も主目標は本種の採集
であつた。恐らくは頂上部に上昇飛来と考えられ、同
所に於いて注意を払つたが全く見向けず、下記の如き
偶然的チャンスに依り得られたものである。それは氷
ノ山越近く迄降つて来た時、不図見上げる私の頭上の
ブナの樹間に何かチラチラと飛交う、恰も蛾の如き小
物を認め得たのであつた。しかし、私は本種である事
と断定し、採集に取り掛つた。鳥取県側から此の尾根
筋へ吹上げる西風は意外に強く、此の小蝶ならずしも
私の継竿も吹倒されんばかりであつたが、やつと1頭
をネットに入れて見れば、紛れもない本種の傷んだ1

♂で、更には1♂をも捕え、此の他にも1♂を見たが
これは取逃した。結局2♂♂を得た訳であるが、多く
のブナの木の有るに拘らず、極力の注意を払つたにも
拘らず、此の木1本にのみ本種が見向けたのは全く今
以つて不思議な存在である。恐らくは♀も居る事と予
想されたので入念に木を叩いたが何等見出す事は出来
なかつた。

4. ミドリシジミ *Neozephyrus taxila japonicus* MURRAY

此の種は今回初めて得られたもので、此の様な少く
とも低地性の本種が得られようとは夢想だになかつ
た。鉢伏の栗林でネットに入れる迄は恐らくは他種と
考えて居た。時期的に見ても発生が遅い本種が昨年同
所では何故に見当らなかつたかと不思議である。クリの
花に飛来したものゝ他、ヤマハンノキにても得られた
恐らく同所ではこれを食樹として居るものであろう。
極限多産を示す本種であり乍ら、その数は必ずしも多
くはない。2♂♂、2♀♀、♀はB型

5. トラフシジミ *Rapala arata* BREMER

地藏堂附近の谷間には夕刻活潑な群飛を示して、
Zephyrus 類と再三にわたつて見紛いさせられて、ネ
ットに入れて失望したものである。4♂♂

6. ベニシジミ *Lycaena phlaeas daimio* SEITZ

1♀、福定附近の畑地にのみ見られる。

尙、此の他、鉢伏山のクリ林でウラキンシジミ
Coreana ibara BUTLER を確実に目撃して居る。恐
らく栗の開花の6月下旬の頃に訪れれば数も得られる
ものと思う。又12日、地藏堂附近谷間で A. m. 11.
00. *Neozephyrus* 系のミドリシジミの一種を目撃して
居る。何分高所であつた為に、確認出来なかつたが、
その出現時刻と飛翔より考えてメスアカミドリシジミ
Neozephyrus smaragdinus BREMER の疑いが濃厚
である。

Ⅷ. セセリチヨウ科 HESPERIIDAE

1. ホソバセセリ *Isoetes lamprospilus* FELD ER

昨年より時期の早い為か、1♂(極めて新鮮)を得
たのみ。

2. コキマダラセセリ *Ochlodes venata herculea* BUTLER

同じく極めて新鮮、鉢伏にのみ見られる。4♂♂

3. ヒメマダラセセリ *Ochlodes ochracea rikuc-* *hina* BUTLER

地藏堂附近で得た♀がカヤツリグサの一種に産卵し
たのを観察、1卵を得た。

(完)